



2026 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 シノブフーズ 株式会社
代表者名 代表取締役社長 松本 崇志
(コード 2903 東証スタンダード)
問合せ先 取締役執行役員経営財務本部長
長尾 正史
(TEL. 06 - 6477 - 0113)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（更新）

当社は、2025 年 3 月 18 日に「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関するお知らせ」を公表し、持続的な成長と中期的な企業価値向上に向けた取組みを進めてまいりました。この度、2026 年 5 月 11 日、会社法第 370 条(取締役会の決議に替わる書面決議)による決議によって、改めて現状分析を行い、改善に向けた取組みを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 現状認識と評価

連結経営指標

	2022 年 3 月期	2023 年 3 月期	2024 年 3 月期	2025 年 3 月期	2026 年 3 月期
売上高 (百万円)	48,653	51,047	54,825	57,651	61,974
経常利益 (百万円)	1,540	1,904	2,409	2,367	2,336
当期純利益 (百万円)	1,081	103	1,167	996	1,698
ROE (%)	7.9	0.7	8.1	6.7	11.3
PBR (倍)	0.57	0.61	0.84	0.74	1.16
PER (倍)	7.2	83.4	10.3	11.0	10.3

当社の ROE は、8%前後で推移していましたが、2026 年 3 月期において 10%台まで改善いたしました。また、PBR は 1.16 倍となり、課題でありました PBR 1 倍割れも解消しております。PER も 10 倍を維持し、当社の事業の安定性や成長性、ならびにメディアを通じた情報発信の強化が、市場からの評価向上につながったものと認識しております。

今後、ROE 10%台を維持するためには、成長戦略の明確化に加えて、収益力を向上させる取組みが重要であると認識しております。

2. 改善に向けた方針

今回の現状評価を踏まえて、資本効率の改善、収益力の向上、株主還元の強化、および IR の強化に取り組み、資本コストや株価を意識した経営を実現していくことで、PBR 1 倍超を安定的に維持していくため取り組んでまいります。

3. 具体的な取り組み

2025 年 5 月に公表しました中期経営計画 (2026 年 3 月期~2030 年 3 月期) を基本として、資本コスト低減に向けて、以下の取り組みを実施してまいります。

(1) 成長戦略

「良品づくり」を基礎とし、3温度帯（定温、チルド、冷凍）へ対応した生産体制を整えるとともに、独自の製法や内製化により新たな価値を創出し、シェアの拡大を図ります。また冷凍事業では、日本の美味しさを世界にお届けするために海外での販売にも挑戦してまいります。

(2) 資産効率の改善に向けた取り組み

当社の資本コストは6～8%程度と認識しております。この資本コストを上回る収益を継続的に創出するため、資産効率の改善を重点的に推進しております。具体的には、収益性分析を徹底し、投下資本の妥当性を評価するとともに、設備稼働率を向上させ資産の有効活用に取り組んでおります。

(3) IR活動

当社の事業活動や商品について広くご理解いただけるよう、各種メディアの活用に加え、インスタグラム公式アカウントなどのSNSを通じて積極的に情報発信を行っております。

(4) 株主還元

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題のひとつと位置づけております。安定配当の維持を基本としつつ、業績動向を踏まえ、将来の事業発展に向けた内部留保にも配慮しながら、2028年3月期を目途に連結配当性向を30%程度まで段階的に引き上げる方針です。また、資本効率の向上および経営環境の変化に応じた機動的な資本政策の実行を目的として、自己株式の取得を行い、株主還元のさらなる充実に努めてまいります。

以 上